



## 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆様、清々しいお気持ちで新年をお迎えになられたことと思います。この一年が皆様にとりまして、幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

昨年、秋の読書週間（10/27～11/9）にちなみ、糸島市立図書館では、各々の館主催で講演会を開きました。本館では、児童文学者で、かつ翻訳家の清水眞砂子さんを、二丈館では、NHK気象キャスターの吉竹顕彰さんを、志摩館では、地元深江在住の万葉研究家の稲田宰さんをお招きしてご講演いただきました。お三方とも、ご専門の知識豊かに興味深くまた、示唆に富んだお話をしてくださいました。参加された方々のアンケートをみますと、大半の方が、面白かった・満足、と感じておられるようでした。

「図書館というのは、単に本を読むための場所ではなく、ひとり考えるための材料集めの場所かもしれない、とそう思えた講演でした。来てよかった。」という感想もいただきました。まさに、そのように思っただけの場所＝図書館でありたいと我々図書館員は常々願っております。今年も、どうぞ図書館へお越しください。お待ちしております。

糸島市立図書館 館長 岩橋佳子



## 開館15周年を迎えて



平成17年（2005）に、糸島市図書館が、伊都文化会館横に「前原市図書館（愛称：ぱびるす館）」という名称で開館してから、今年で15周年を迎えます。この15年の間に、糸島市が誕生し、二丈館・志摩館の開館を経て、三館体制となりました。その後本館は現在の場所に移転し、今年で5年が経ちます。開館当時およそ7万8千冊だった蔵書は、現在、およそ29万冊（三館合計）まで増加しました。図書館を利用し、支えてくださる皆さまに感謝しつつ、今後もよりよい図書館サービスを日々模索しながら、さらに便利で身近な図書館を目指してまいります。

今年もさまざまな図書館イベントの開催を予定しています。広報や図書館ホームページなどでお知らせいたしますので、どうぞ楽しみにお待ちください。

### 編集・発行：糸島市立図書館



糸島市図書館 本館  
糸島市前原東一丁目3番1号  
Tel：321-1432



糸島市図書館 二丈館  
糸島市二丈深江1360番地  
Tel：332-2118



糸島市図書館 志摩館  
糸島市志摩初30番地  
Tel：332-2119

# 二丈館へ行こう！



## ◆気象予報士・吉竹顕彰さんの講演会を開催しました！

昨年11月9日（土）、糸島市制施行10周年記念講演会「日本の四季と季節の言葉～私の読書～」を開催しました。講師はNHK福岡のニュース番組でおなじみの吉竹顕彰さん！やはりとても人気で、申し込みはすぐに定員に達しました。おもしろくわかりやすく季節の言葉やその意味をやわらかい口調で話され、参加された方に楽しく有意義な時間を過ごしていただきました。たくさんの詩集や句集などの愛読書も紹介され、昔読んだことのある本でもまた読み返してみることのおもしろさを話されました。吉竹さんからは「熱心に聞いていただき、私も時間を忘れて一気にお話をさせていただきました。図書館を拝見しましたが、読みたい本がたくさんあってわくわくしました」とのことでした。吉竹さんが紹介された本は図書館にもありますので、ぜひ司書にお声がけください。



図書館には本がたくさんあります。新たな出会いだけでなく、昔読んだあの本に再会することもあります。改めて読んでみると、新しい気付きがあるかもしれません。

# 志摩館へ行こう！



本年も志摩館一同よりよいサービスを目指し精進してまいります。たくさんのご利用をよろしくお願いいたします。

さて、令和2年最初の志摩館展示は、『共生～ともに生きる～』です。志摩館で3月に有田動物病院院長 有田公生氏をお招きする講演会にちなみ、動物たちに関する本を集めています。その中から少しご紹介します。



### ● 『すくすく育て！子ダヌキポンタ』

（489 円/児童 佐和 みずえ/文 学研プラス）

農作物に被害を与えるたぬきや、イノシシ、鹿やサル。農家の方には何ともやっかいな生き物と敬遠されています。そんな野生の子ダヌキポンタと出会った獣医の先生が、ポンタを野生に返すまでのお話です。

### ● 『動物たちは何を考えている？』

（481.7 円/一般 藤田 和生/編著 技術評論社）

犬、ねこ、鳥、魚… そんな動物たちの気持ちを知りたいと思ったことはありませんか？実験や観察によって、その解明に挑戦するのが【動物心理学】。動物たちの行動の意味や気持ちがわかるかもしれないなんて、わくわくしますよね。この本で動物の心の世界に一步近づくことができるかも（?!）





## 「利用者の声」に皆さまから寄せられたご意見・ご要望に対する回答

図書館に設置している「ご意見箱」に寄せられたご意見・ご要望への回答を抜粋して掲載しています。

(ご意見・ご要望は要約したものを掲載しています。)

### 図書館イベントについて

『本を書いた著者に手紙を書こう!』という図書館イベントの提案です。私は、本を読んで感動したことや、自分の意見を書いた手紙を著者に送るのが楽しみです。感想文としてだけでなく、二度三度読み込んで読者としての心模様を手紙に書いています。このような切り口のイベントを希望します。

.....  
図書館のイベントについて具体的なご提案をいただき、ありがとうございます。

作家さんへの手紙という形では難しいかもしれませんが、読書を通じて参加者同士が交流できるもので、読書会のようなイベントは、以前から要望をいただいていたこともあり、開催を検討しております。参加者同士で感想を述べ合うことで新たな発見があったり、興味関心を広げることができたりするという点では、ご提案くださったイベントにも通じるものがあるのではないかと思います。

### 本館学習室のマナーについて

本館3階の学習室1(PC・電子機器持ち込み不可)を利用した際、私語をしている利用者や、電卓を使用している利用者があり、うるさく感じました。最近、マナーの悪さが目立っていると思います。

.....  
いつも図書館をご利用いただきありがとうございます。

学習室をご利用の際に、ご不快な思いをされたとのことに対し、心よりお詫びを申し上げます。いただいたご意見については、職員全員に伝達し、対応を再確認いたしました。

ご利用されておりました学習室1の部屋では、本来、電卓などの電子機器は使用を禁止しております。そのような場合や、マナーの悪い方には職員が直接注意を行って対応しております。今後も、学習室の環境維持、マナー向上の啓発に努めてまいりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

### 図書館資料のコピーの手続きについて

図書館で資料のコピーをするときの手続きを簡素化することはできませんか。

著作権法の問題は承知していますが、福岡市の図書館では、申込み不要で、利用者が自由にコピー機を使うことができます。利用者の利便性を図るため、検討をお願いします。

.....  
貴重なご意見をありがとうございます。

糸島市立図書館では、所蔵資料のコピーをする際に、申込書の提出をお願いしており、お名前やご住所、資料名、複写するページ、枚数などの項目をご記入いただいています。ご指摘の通り、利用者がコピー機を使用する際に、申込書の提出を不要としている図書館も一部あることから、手続きの簡素化を求める声は以前からありました。ご承知の通り、図書館内のコピーのルールは著作権法に基づいたものです。著作権法では、著作者の権利を保護するため、本来、著作権者の許可なく著作物を複製することは違法です。しかし、図書館においては、その社会的機能が考慮され、著作権を一部制限し、著作者の許可なくコピーをすることができます(著作権法第31条)。ただし、著作権者に著しく不利にならないよう使用目的や範囲などに条件が決められています。また、図書館におけるコピーは、図書館が主体となり、厳密な管理の下、著作権法の適正な範囲内で行うために、利用者の皆さまに所定の手続きをお願いし、著作権法の制限の範囲内であることを図書館員が確認することが必要と考えています。

このようなルールに矛盾や煩わしさを感じられる方も多くいらっしゃると思いますが、図書館には利用者の皆さまにサービスを提供すると同時に、著作者の権利を守る責任もあるということをご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

# イベント情報

1/5 日

## 本の福袋



10:00~

本館

貸出用の本3冊とおまげが入った福袋を配布します。どんな本が入っているかは開けてからの楽しみです。

**場所** 糸島市図書館 本館 入口付近

**対象** 幼児~大人

**ご注意** ※ おひとり1セットまでです

2/24 月・祝

## 本の修理相談室

傷んでしまったお気に入りの本を自分の手で修理してみませんか？

本館

**場所** 糸島市図書館本館 2階小会議室

**時間** ①10:30~②11:30~③13:30~④14:30~  
⑤15:30~ ※予約制

**人数** 5~10名(先着順) **講師** 図書館司書

**申込** 1月23日(木)10時~  
修理したい本を持参のうえ、ご希望の時間帯を選んで本館カウンターへお申し込みください

1/18 土 2/29 土

本館

## 連続歴史講座「本で楽しむ日本の歴史」

**講師** 岡部 裕俊(糸島市教育委員会)

**場所** 教育センター2階研修室(糸島市図書館本館横)

**内容** 1/18(土)第一回: 考古学者森浩一と古代の糸島① 一邪馬台国と伊都国 10:30~12:00

2/29(土)第二回: 考古学者森浩一と古代の糸島② 一応神天皇出生伝承と糸島 10:30~12:00

**申込** 12月13日(金)10:00~糸島市図書館本館カウンターまたは電話で申し込み(定員30名・先着順)

## 図書館特別整理期間(蔵書点検)による休館のお知らせ

蔵書点検のための特別整理期間として、下記の期間図書館を休館いたします。利用者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 本館 2月3日(月)~2月7日(金)

2. 二文館・志摩館 2月17日(月)~2月21日(金)



蔵書点検期間の、図書・雑誌・紙芝居の返却は、返却ポストのご利用をお願いいたします。ただし、視聴覚資料のご返却は2月22日(土)以降に二文館のカウンターへお願いいたします。

※蔵書点検期間中は、電話による予約、貸出の延長、調べものなどはお受けできません。開館している図書館をお願いいたします。

## 司書のリレーエッセイ



担当: E

今年は、私が亀を飼ってちょうど10年になる年です。亀は身近な生き物ですが、全世界に多様な種があり、個性豊かです。私の亀はクサガメという水棲亀で、亀を飼っている人なら分かると思いますが、意外と表情豊で、人によくなつき、空間認識に優れていて常に自由を求めているような生き物なのです。手を出すとあごを乗せてきたり、家に入ってきて座椅子で眠ったりします。要するに可愛いのですが、飼っていると生き物や環境との関わり方を考えさせられます。全体をみると亀を取り巻く環境は厳しく、外来種問題や海洋汚染など、亀好きとしては苦しい問題が多くあります。亀に助けられてきた人生なので、亀のためにできることを考えていきたいものです。